



創造

先日、「あしきたハローウィン 秋祭り」が開催されました。被災した芦北町民を励まそうという趣旨で開かれたイベントで、県内各地からボランティアの皆様が集結されました。

ステージ発表の中で、一つの作品が目にとまりました。上益城在住の書家の方の作品「一歩」でした。力強く伸び伸びとした書体とともに、本校の今年度のチームスロ―ガンが「一歩前進（フワードワン）」だったということと、仮設校舎に移転して新たな一歩を踏み出したばかりという現状とが重なったのがその理由でした。どうしても欲しくなり書家の方に相談したところ、快く貴重な作品を譲って下さいました。

早速、学校に持ち帰り仮設校舎入口に設置しました。さらに、一年生が書いた「がんばろう

さ小の子」という復興に向けた決意を作品の下に掲示しました。

これらの掲示物を見ながら、私たちが士気を高め「一歩」ずつ確実に歩みを進めていきます。



六年生にとってビッグイベントだった修学旅行。私は『修行の旅』と位置づけました。修行とは、「学問や技能を身につけるために努力を重ねること」です。

好天に恵まれた二日間の中で子どもたちの姿を見て、「笑顔」になる場面がたくさんありました。波が高く、横揺れが激しかったため船酔いする子が数名いました。容体を心配して児童に声をかけ介助してくださった一般客に対して、下船する際に深々とお辞儀をして「ご心配おかけしました。有難うございました」お礼を述べた女兒の姿がありました。この他、たくさんの児童が目的地を訪ねるたびに「有難うございました」という感謝の気持ち伝えていました。何度も困難なことを体験したからこそ、ごく自然に「有難う」という言葉がでてきたのでしょうか。

今回の『修行の旅』を通して身近なところで自分を支えてくれる人、社会の中でお世話になっている人等への感謝の気持ち素直に表し、伝えることの大切さを学んでくれたことと思います。実り多い二日間でした。



平和の祈りをささげた集会

時と場面を考え行動した修学旅行！



食器の片づけ

ふるさとの復興へ向けて いっぽいっぽ!



私たちは、熊本地震のときに多くの人たちに支援していただきました。

佐敷小学校のみなさん、ふるさとの復興に向けて、ともにいっぽいっぽ歩んでいきましょう。〔西原村立河原小学校児童会〕

2年前は、ぼくたちが応援してもらったので、次はぼくたちが応援する番です。

苦しいと思いますが、がんばって今をのり越えてください。きっと、幸せが待っています。〔岡山県倉敷市立川辺小学校5年児童〕

佐敷小のみなさん、豪雨の被害で苦しい思いや悲しい思いをされたことと思います。しかし、たいへんなことを経験したみなさんだからこそ、これからどんなことにも対応できる心を持たれたと思います。自分にできることを精一杯がんばってください。わたしも、この手紙のように被災地のみなさんにできることを考え行動していきます。

〔菊池市立菊之池小学校6年児童〕



各担任による学級紹介



「みんななかよし がんばる子」を学級目標にして毎日頑張っています。みんなの良いところを伝え合う「キラキラシャワー」は、日直さんの良いところを全員が発表するワクワク ウキウキで、みんなが大好きな時間です。佐敷小、田浦中、プレハブ教室と生活する場所が変わっても、佐敷小の一員としての学習のかまえや生活のきまりを守って生き生きと活動しています。係の仕事や日直の仕事、そうじ…何でもできるようになりました。これからも全力で学習面や生活面において向上していきます。 1年1組担任 前田 佐都美

なかよし学級2組では、楽しく学びのある授業をしています。メリハリをつけた学習活動ができており笑顔のたえない雰囲気がとても良いです。学級の目標は「チャレンジ」で、授業中の発表や、係・当番など「自分のため人のため」に積極的に考動することができてきました。交流学級の5年1組の友だちとも力を合わせ、様々な活動に取り組んでいます。これからも子供たちのさらなる成長を支えていけるよう私もがんばります。なかよし2組担任 藤崎 正邦

